

2006年 1月号

い~情報メールマガジン

マガ



謹賀新年

明けましておめでとうございます。イラスト担当の石田です。いやはや今年も皆様に役に立てるようにいーマガと共に成長していきます！今年の僕は一味も二味も違いますよ！



Excelの大技 / 小技



COUNT IF機能を使ってみる



『COUNT IFっていう関数』知ってる？ 表の中に『』とか『×』とか入力してある場合に『』の個数とか『×』の個数を数えるの面倒でしょ？ そんな時、この機能を使えば簡単だよ。



じゃあ、右の表の『』と『×』の個数を求めてみよう。

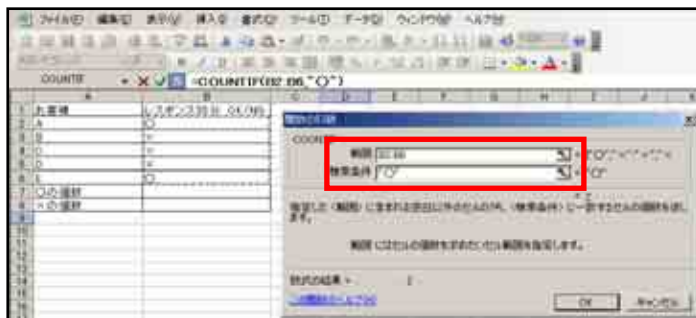
	A	B
1	お客様	レスポンス30分 OK/NG
2	A	○
3	B	×
4	C	×
5	D	×
6	E	○

まずは挿入タブから関数を選んで『COUNTIF』を選択



集計したい範囲 (B2:B6) を選択して、検索条件 (or ×) を入力する

	A	B
1	お客様	レスポンス30分 OK/NG
2	A	○
3	B	×
4	C	×
5	D	×
6	E	○
7	○の個数	2
8	×の個数	3





グループ化機能を使ってみる



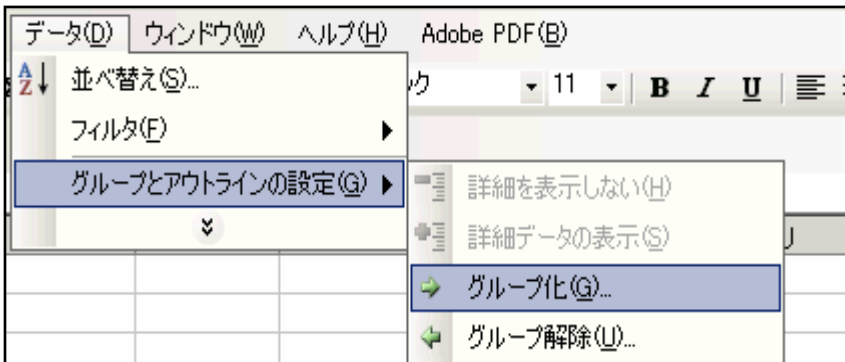
例えば右図のようなお見積もりを作成する時に『C列の原価』が入っていると都合が悪いよね。
かといって毎回消したり入力したりじゃ面倒。
そこで便利なのがこの『グループ化』だよ。


	A	B	C	D
1	商品名	定価	原価	お見積もり金額
2	A	10000	6000	7500
3	B	20000	15000	18000
4	C	30000	23000	26000

まずC列を選択する

	A	B	C	D
1	商品名	定価	原価	お見積もり金額
2	A	10000	6000	7500
3	B	20000	15000	18000
4	C	30000	23000	26000

『データ』の『グループとアウトラインの設定』を選択しグループ化をクリック



 ボタンをクリックすれば、下の図のようにC列だけ消えます

	A	B	C	D
1	商品名	定価	原価	お見積もり金額
2	A	10000	6000	7500
3	B	20000	15000	18000
4	C	30000	23000	26000



その状態で印刷すれば
『原価』が出力されないんだ。

	A	B	D
1	商品名	定価	お見積もり金額
2	A	10000	7500
3	B	20000	18000
4	C	30000	26000



もう一度ボタンを押せば上の図に戻るから
修正もOKだよ。



『グループ化』の解除をしたかったら、 の『グループ解除』を実行してね。